

## 目標達成計画

作成日:平成30年4月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念作りを目標に挙げているが、なかなか決定できていない。スタッフ皆が同じ方向性を持つためにも大切。	スタッフがd尾のようなケアをしたいか？どのようなケアをされたいか？利用者様の気持ちを考えながら皆で話し合い、分かりやすくまとめてケアの統一を図る。	清流の基本方針を再確認し、介護理念を考える。スタッフから得たアンケートをもとに個人ミク表を考えてもらい目に付く所に掲示して日々のケアの振り返りに役立てる。月1のカンファレンス時に良かった点・反省すべき事等振り返りの発表の時間を設ける。	12ヶ月
2	6	○身体拘束をしないケアの実践 研修会などを通して目に見える拘束などは理解していると思うが、馴れ合いの関係から、無意識に言葉が強かったり、スピーチロックにあたるような事が時々見受けられる。	利用者様の事を理解し、自分だったらどうか？立場になって考えるようにする。同時にスタッフ同士で対応やケアについて声を掛け合えるようになる。	権利擁護や高齢者虐待の研修会には積極的に参加する。日々のカンファレンスで気づきや、自分のケア、他スタッフのケアでいいと感じた事・気を付けたほうがいいと感じた事を話し合い、書き残し皆に周知する。利用者一人一人にマイナス発言・プラス発言をスタッフ皆で出し合い、振り返りが出来るよう残しておく。	12ヶ月
3	35	○災害対策 毎年、年に2回の訓練は行っているが、十分なものとはいえない。一人一人危機感を持つための訓練が必要。	火事・地震・水害の災害時の場合にあったマニュアルづくり。夜間を想定した時の地域の方や消防団の協力参加や相談など働きかける。スタッフ一人一人が意識を持ち、いざという時に判断できるよう理解しておく。	あらゆる災害を想定したマニュアル作りや避難場所や経路を周知する。備蓄の確認やコンセント周辺など見落としがないよう安全チェックの徹底。研修に参加し知識を高め合う。近隣者の方にも相談し、参加協力へ呼びかける。	12ヶ月
4					3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。